

泌尿器科

岡 聖次

平成 26 年度（平成 26 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の入院患者総数は 629 名（重複入院を含む）であり、その内、主病名での悪性腫瘍患者は 440 名（70.0%）を占めた。癌の内訳は腎癌 32 名、腎盂・尿管癌 54 名、膀胱癌 204 名、前立腺癌 135 名、精巣腫瘍 4 名、その他 11 名であった。手術件数は 485 件（475 名）であり、悪性腫瘍関連では根治的腎摘除術 8 件、腎部分摘除術 6 件、腎尿管全摘除術 12 件、TUR-BT 116 件、膀胱全摘除 5 件、前立腺全摘除術 32 件、精巣摘除術 1 件施行した。

尿路結石症に対する外科的治療は、昨年 7 月より開始した経尿道的腎尿管碎石術（f-TUL）が 28 件と多く、体外衝撃波による結石破碎術（ESWL）は 23 回（10 名：外来施行 18 回）施行した。

昨年 7 月に灌流液として生理食塩水を用いるシステム（TURis システム）に切り替えたことにより、これまで開腹手術が余儀なくされていた大きな前立腺肥大に対しても、経尿道的に前立腺肥大組織（内腺）をくり抜いて膀胱内に押し込み、膀胱内に遊離された肥大組織をミンチ状に砕いて吸い出す特殊装置（モルセレーター）を用いて摘出する経尿道的前立腺核出術（TUEB）が可能となり、それ以降は摘除予想重量が 100g を超えていても自己血の準備をすることなく TUEB を施行し、開腹手術は 1 例も行っていない。

膀胱癌に対する膀胱全摘除術も平成 25 年より腹腔鏡下（ラパロ）手術を開始し、出血量がより少ない手術が可能となっている。平成 26 年度の当科での腹部手術は、原則的に副腎腫瘍に対しては臍周囲の切開による単孔式腹腔鏡下手術（ラパロ）、腎癌や腎盂・尿管癌に対しては後腹膜アプローチによるラパロ手術、膀胱癌に対する膀胱全摘は経腹的アプローチによるラパロ手術、前立腺癌に対しては 6cm の皮膚切開による腹腔鏡下小切開手術を行った。

限局性前立腺癌に対してはこれまで同様に、症例に応じて手術以外に体外照射治療の強度変調放射線治療（IMRT）および内照射の高線量率組織内照射法（HD-RT）の放射線治療も行った。

去勢抵抗性前立腺癌に対しては、これまでは最後の砦とされていたドセタキセル治療が無効となった症例に対しても有効性が証明された 3 種の新規薬剤が平成 26 年に保険収載されたことにより、症例を選びながらこれらの治療も開始した。

進行性腎細胞癌に対しては分子標的薬を中心に次々と新薬が開発され本邦でも保険収載されているが、われわれはこれらの治療も症例を選びながら積極的に取り組んでいる。

外来診療においてはこれまでと同様に、癌診療を中心とした急性期病院であるという当院の機能的役割に準じ、慢性疾患で薬剤投与が中心となっている患者に対しては、可能な限り紹介元での診療を依頼するなどして、病診連携の強化に努めている。

【2014 年度研究発表業績】

A-0

K Yoshida, H Yamazaki, T Takenaka, T Kitsuma, M Yoshida, K Masui, Y Yoshioka, Y Narumi, T Oka, E Tanaka,; High-dose-rate interstitial brachytherapy in combination with androgen deprivation therapy for prostate cancer. Are high-risk patients good candidates? Strahlenther Onkol 2014 May 17 on line (2014 年 5 月)

A-3

大島純平、植村元秀、加藤大悟、永原 啓、木内 寛、辻村 晃、野々村祝夫：Choriocarcinoma syndrome を来した性腺外胚細胞腫瘍に対して Modified BEP レジメンによる導入化学療法が奏効した 1 例。泌尿器科紀要. 2014: 60 (4) : 183-187. 2014 年 4 月

野村広徳、野々村大地、金城孝則、山本致之、米田 傑、鄭 則秀、松宮清美。統合失調症患者に発生した巨大精巣腫瘍の 1 例。泌尿紀要、2014.60 (5) : 241-244. 2014 年 5 月

堀井沙也佳、高田晋吾、金城孝則、野々村大地、山本致之、米田 傑、野村広徳、鄭 則秀、松宮清美、白山純美。両側精巣上体炎から不全型ベーチェット病と診断された 1 例。泌尿紀要、2014.60 (11) : 593-596. 2014 年 11 月

吉岡 巖、金宮健翁、木下竜弥、鄭 則秀、原田泰規、上平朝子、白阪琢磨、岡 聖次：抗 HIV 治療薬 Atazanavir 内服患者に発生した尿路結石症の検討。泌尿器外科、2014. 27(11): 1823-1827. 2014 年 11 月

B-4

鄭 則秀、大島純平、木下竜弥、原田泰規、岡 聖次：回腸導管造設後に発生した左腎盂腫瘍に対する後腹膜鏡下腎尿管全摘除術の経験。第 28 回日本泌尿器内視鏡学会総会、福岡、2014 年 11 月

B-6

木下竜弥、金宮健翁、吉岡 巖、鄭 則秀、原田泰規、岡 聖次、森 清：Oulmonary tumor thrombotic microangiopathy(PTTM)を発症した前立腺癌の 1 例。第 226 回日本泌尿器科学会関西地方会、高槻、2014 年 5 月

大島純平、藤田和利、角田洋一、永原 啓、木内 寛、植村元秀、奥見雅由、中井康友、高尾徹也、宮川 康、辻村 晃、野々村祝夫、西 宏之、甲斐沼 尚：心房内腫瘍塞栓

子を認めた右腎癌の1例. 第226回日本泌尿器科学会関西地方会、高槻、2014年5月

B-8

木下竜弥：去勢抵抗性前立腺癌（CRPC）について考える会. 進行性前立腺癌の治療戦略. 大阪、2014年9月

大島純平：第48回おおさか健康セミナー、前立腺炎について. 大阪、2015年1月

原田泰規：第48回おおさか健康セミナー、知っておきたい前立腺肥大症のこと. 大阪、2015年1月

鄭 則秀：第48回おおさか健康セミナー、前立腺癌の診断～早期発見のために～. 大阪、2015年1月

木下竜弥：第48回おおさか健康セミナー、正しく知り、正しく選択したい前立腺癌の治療. 大阪、2015年1月